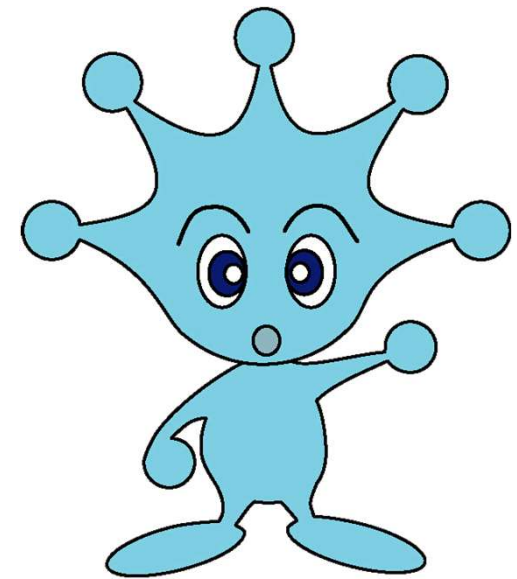


I 令和7年度決算 主要事業



Yokosuka city Waterworks and Sewerage Bureau

1 配水施設整備

202,310,050円

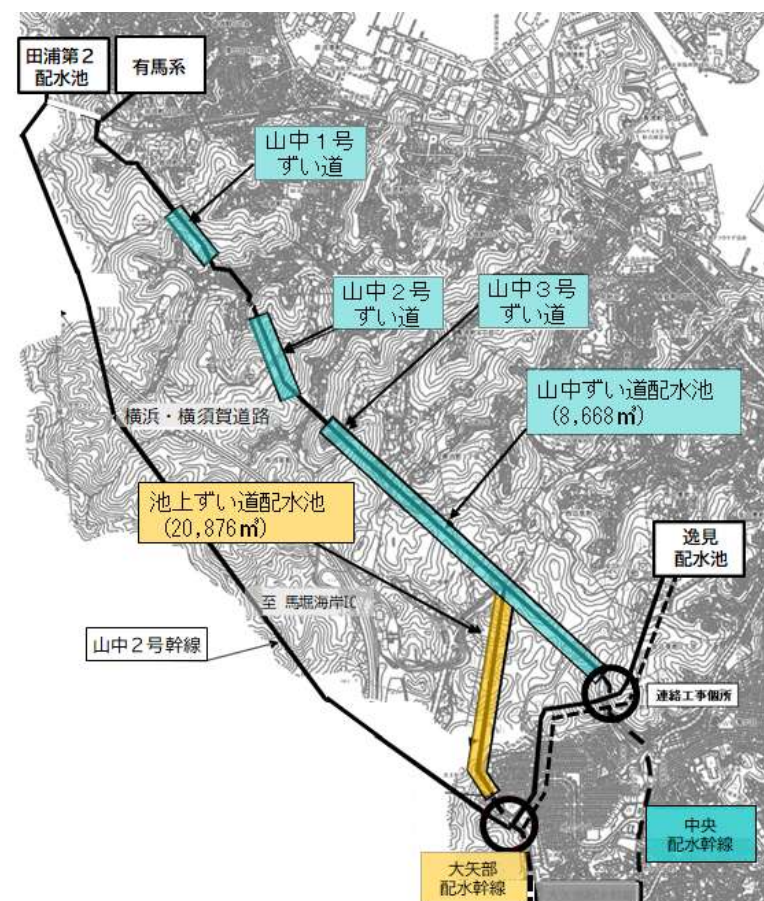
水道施設課

経年化した配水施設の更新・改良工事等を行いました。

- ①山中・池上ずい道配水池補強工事
- ②鷹取低区配水池改良工事 ほか



池上ずい道配水池



2 ポンプ場改築

2,393,834,300円

施設更新担当

経年化したポンプ場設備の改築工事ほかを行いました。

6 ポンプ場（舟倉第2・久里浜第2・上町・津久井・長井・武）

①上町ポンプ場管理棟受変電設備ほか更新工事

②久里浜第2ポンプ場雨水ポンプ設備更新工事

③久里浜第2ポンプ場電気設備改築工事

ほか



上町ポンプ場管理棟受変電設備ほか更新工事

3 浄化センター改築

2,515,426,872円

施設更新担当

経年化した浄化センター設備の改築工事ほかを行いました。

3 浄化センター（下町・追浜・西）

- ①下町浄化センター特高受変電設備更新工事
- ②下町浄化センター 3系最初沈殿池機械設備更新ほか工事（その2）
- ③追浜浄化センター用水設備更新工事

ほか



下町浄化センター特高受変電設備更新工事

4 水道管耐震化

4, 377, 035, 791円

水道管路課
水道施設課

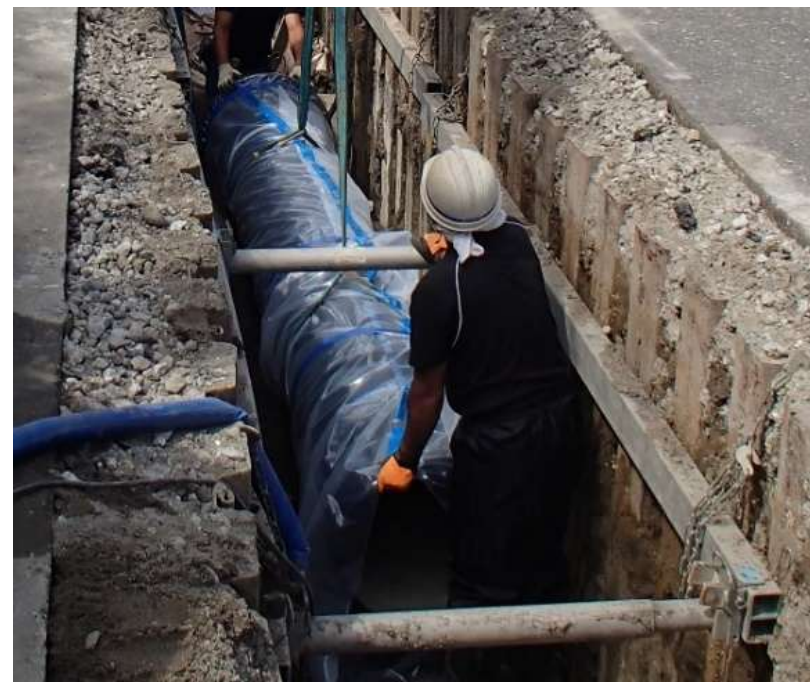
経年化した配水管を耐震性能を備えた管に更新し、水道管の耐震化を推進しました。

①配水本管更新工事（口径 ϕ 300以上）

延長 4.8 k m

②配水管更新工事（口径 ϕ 300未満）

延長 13.2 k m



5 下水道耐震化

404,184,990円

下水道管渠課
施設更新担当

下水道管の耐震化工事、浄化センターの耐震化工事・耐震診断委託を行いました。

- ①下水道管耐震化工事ほか 延長0.6 k m
- ②追浜浄化センター水処理棟耐震補強工事
- ③追浜浄化センター水処理棟耐震補強実施設計業務委託



耐震化更生工事 施工前



耐震化更生工事 施工後

下水道管改築事業

6 大規模下水道管路 特別重点調査業務

134, 779, 260円

下水道管渠課

国土交通省からの要請により下水道管の劣化状況について緊急調査等を実施しました。

- ・横須賀市大規模下水道管路特別重点調査業務委託 ほか



船越排水区ほか大規模下水道管路特別重点調査業務委託



下水道管路特別重点調査に伴う改築設計業務委託

7 浸水対策

120,090,800円

下水道管渠課

浸水の発生頻度などから優先順位を検討し、浸水対策を着実に進めました。

- ①上町1丁目地内ほか管渠工事実施設計業務委託
- ②旧横須賀税務署解体工事設計業務委託
- ③国道357号延伸工事に伴う雨水管整備負担金 ほか



上町歩道橋付近浸水の様子



国道357号延伸工事に伴う雨水管整備

8 鉛給水管解消

472, 139, 790円

給排水課
水道管路課

鉛給水管の取替えを促進するため、配水管布設工事などに伴う鉛給水管の取替工事を行い、また、お客さまが行う取替工事に対して、費用の一部を助成しました。

①鉛給水管取替 788件

②鉛給水管取替工事への補助金 97件

(補助率) 1 / 2

上限 200,000円

(撤去工事のみは100,000円)



鉛給水管の漏水状況

9 P P A 太陽光発電

0円

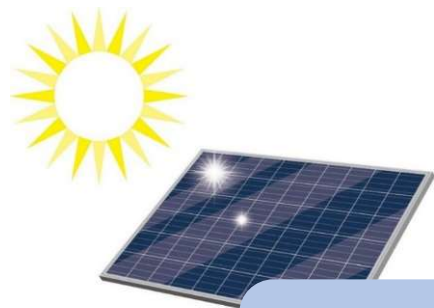
計画課
水再生課

「地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例」を踏まえ、電力の調達において温室効果ガス 排出量削減に向けた取り組みを検討しました。

太陽光発電設備設置検討場所 下町浄化センター、西浄化センター

令和7年度取組内容

- ①設置場所検討
- ②条件整理
- ③公募に向けた準備



PPA
事業者

電力供給

上下水道局

使用した電気料金

太陽光発電設備の設置・管理

太陽光発電設備は、PPA事業者の負担により設置され、契約期間中の維持管理もPPA事業者が行います。
その代わりに、契約終了までの間、利用者はPPA事業者を利用した分の電気代を支払います。

※ PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

10 太陽光発電設備設置

2,506,350円

計画課
浄水課

ゼロカーボンを推進するため、野比高区ポンプ所に太陽光発電設備を設置しました。



野比高区ポンプ所太陽光発電設備

11 管路維持管理業務委託

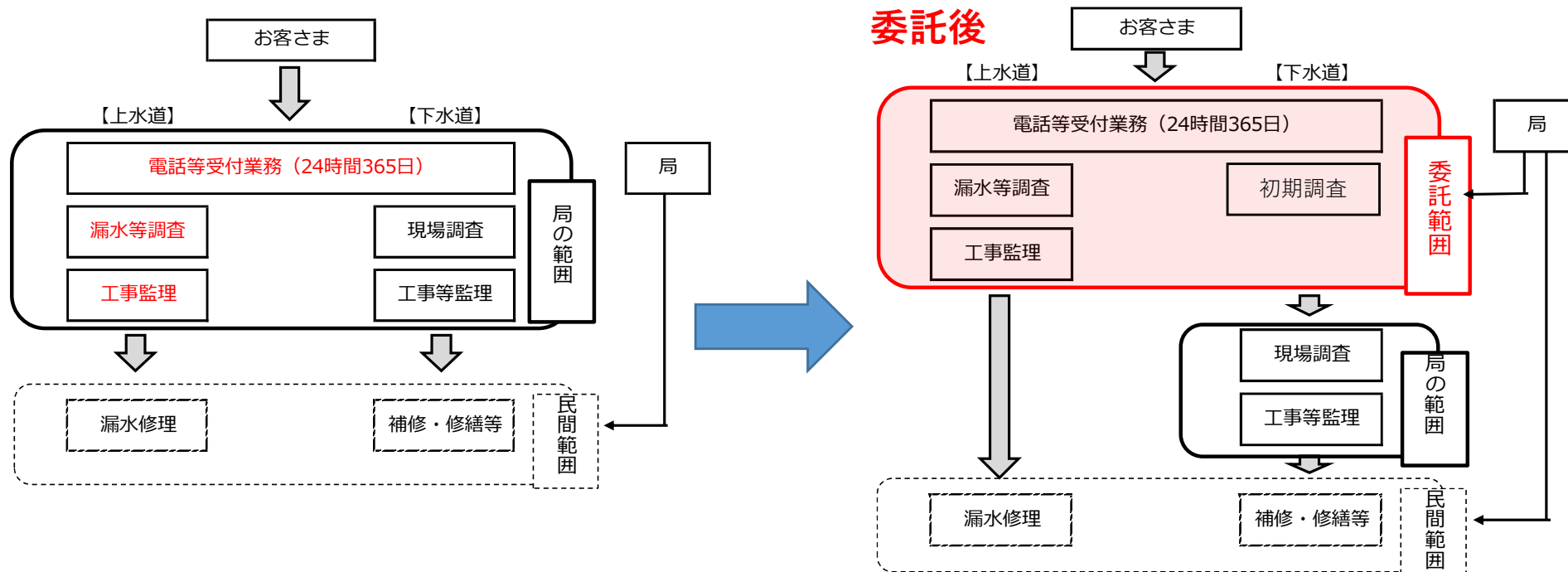
153,384,000円

管路維持担当
下水道管渠課

(水道107,368,800円 下水道46,015,200円)

市民サービスを低下させず持続可能な上下水道事業を構築するため、職員が実施している管路維持管理業務を委託化し、民間企業の持つ人材、技術、ノウハウを活用する取り組みを実施しました。

令和7年度から本格的に委託化を実施し、職員を14人削減しました。



12 給排水設備工事

4,414,872円

給排水課

電子申請システム（水道2,236,872円 下水道2,178,000円）

来庁せずにオンラインで給排水設備の工事申請を行うことにより、事業者の利便性が向上しました。また、ペーパーレスを実施し、DXを推進しました。令和6年度はシステムを整備し、令和7年度から運用開始しました。



13 現場業務のDX

7,595,280円

総務課
計画課

(水道3,797,640円 下水道3,797,640円)

タブレットやクラウド技術を活用し、現場業務のペーパーレス化の推進、作業効率の向上及び個人情報紛失リスクを低減する取り組みを実施しました。

また、本庁と出先機関をつなぎ、お客様や職員の利便性を向上しました。

令和7年度は各課のテレワーク用ノートPCをタブレットPCに更新しました。

【現場のペーパーレス化】



出先施設



(逸見総合管理センター)



(下水道管渠課など)

【←つなぐ→】



利便性

本庁窓口



(用地管理課など)

お客様

14 オフィス改革

8,638,146円

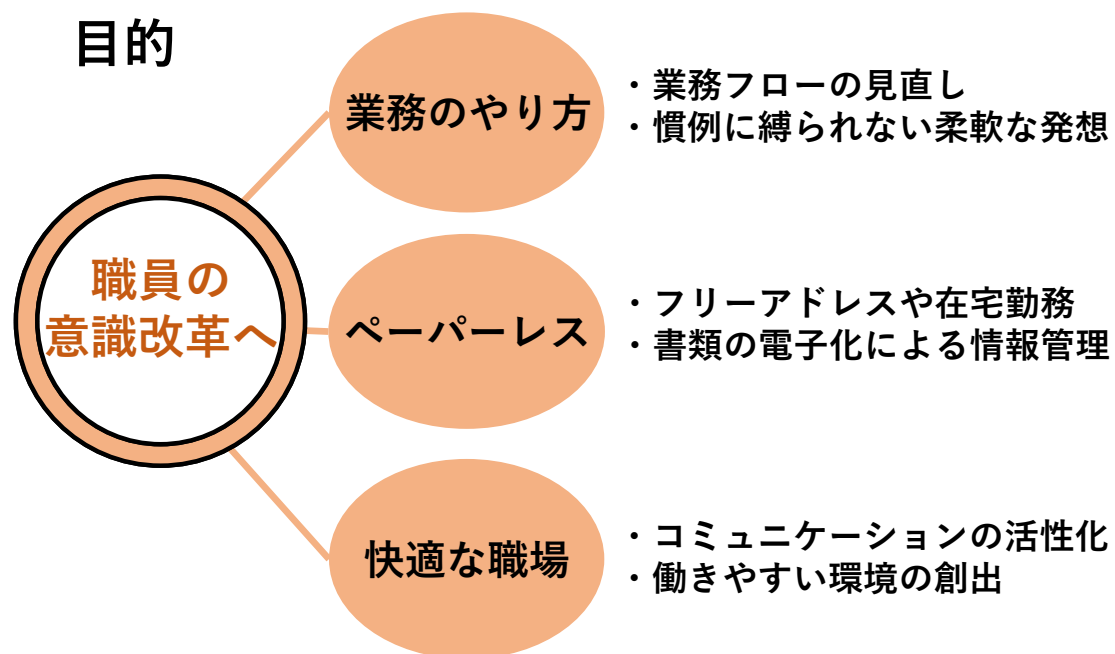
総務課

(水道4,319,073円 下水道4,319,073円)

業務の生産性を向上させるため、職員の意識改革とあわせてオフィスの環境を見直し、快適に働くことのできる職場へ改革する取り組みを実施しました。

令和7年度実施課 経理課（11名） 用地管理課（15名）

目的



オフィス改革は意識改革のきっかけ！



15 下水道ウォーターPPP

13,275,900円

計画課

下水道管渠課

局職員数の減少等の課題に対応してサービスを継続するため、下水道ウォーターPPPの導入を検討しています。

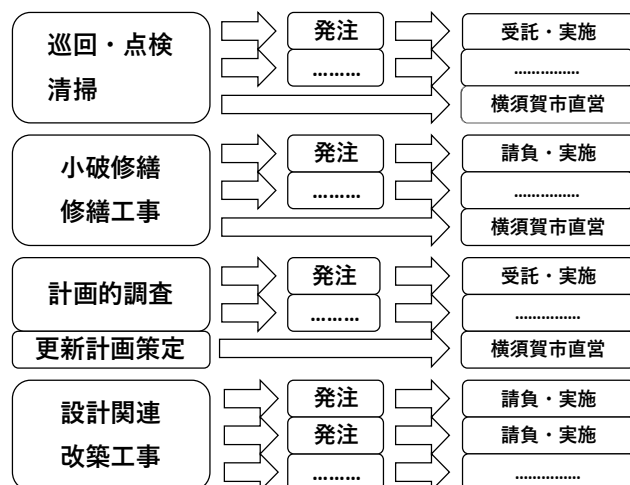
令和7年度は、市内企業を含む民間事業者からの意見を踏まえ、より詳細な業務内容等を検討するため、業務委託を行いました。

- ・業務計画、実施方針の策定にかかる支援業務委託

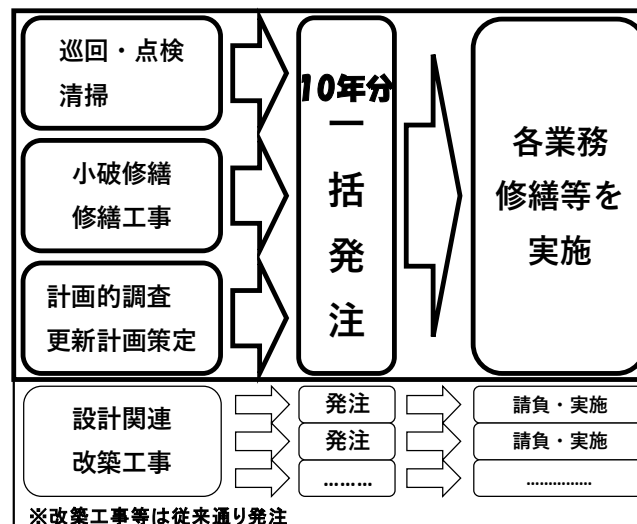
ウォーターPPP（更新支援型）の導入イメージ

発注方法等の比較

現状：業務・工事ごとに発注（原則単年度）



ウォータPPP【更新支援型】導入後：まとめて発注（複数業務を10年）



今後のスケジュール

- ・令和8年度 公募開始
- ・令和9年度 事業者決定 事務引継ぎ
- ・令和10年度 事業開始